



マイナス金利で大もうけの仕組み

今年二月、マイナス金利が導入された。金融機関が日銀に預けている当座預金に〇・一％のマイナス金利を適用。つまり、千円を預けて一年後に引き出すと九九九円に減る。預ければ預けるほど損。我々だったら、すぐ引き出して天井裏に隠すだろう。

庶民への利子は

適用されたのは一部
金融機関が日銀に預けている当座預金総額は今年二月で二六〇兆円。その全てにマイナス金利が適用されると思うのが我々一般人。ところが、二六〇兆円の内、二二〇兆円はプラス〇・一％を適用。金融機関はなんと年二千億円の利子を受け取れるのだ！

二六〇兆円の内、約四十兆円はゼロ金利。マイナス金利が適用

ここで、市中銀行はこの機会に庶民の普通預金金利を〇・〇二％から〇・〇〇〇一％に引下げ。即ち、百万円の預金の利子を年二百円から年一円に下げた。民間銀行への一般の預金総額八百兆円を普通預金と想定すると銀行が払う利子は一千六百億円から八十億円に減る。銀行は一千五百二十億円の儲け。アベノミクスさまさま。

皆さんはどう思われますか？

フラワーセンター大船植物園

鎌倉市岡本 (大船駅近く)



2016.6.19 徹

梅雨の晴れ間の土曜日、県立フラワーセンター大船植物園を訪れた。二万坪近い広い敷地。一九六七年に神奈川県農業試験場の跡地に作られたそうだ。池には睡蓮、花菖蒲が咲き、遊歩道に沿って紫陽花も色とりどり。県民が植物に触れ心に安らぎを感じる大切な施設だ。

絵の中央に見えるのはドーナツ型の温室。ドーナツの一部が切れて、そこに出入り口がある。

入り口で「民間委託反対」の署名活動をしている人によると「県知事はフラワーセンターは『赤字』だから、民営化する」というのだ。つまり、県民の為に、県の予算は出さない。入場料で運営せよと云う。暖房費のかかる温室は廃止とか。寂しい。

先週はお休みしました